

令和2年(2020年)8月31日
総合政策部 地域創生推進課 地域エネルギー室



湖南省はゼロカーボンシティへ 挑戦します

■趣旨

湖南省は、2020年度SDGs未来都市の選定都市として、市民や事業者の皆さんと共に、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに市内のCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを、市長が本日表明いたします。

このことにより、湖南省はゼロカーボンシティとなります。

当市では、自治体地域新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」を核とした官民連携の自然エネルギー導入や、省エネルギーサービス事業の展開により、エネルギー費用の流出の最小化による域内経済循環の創出や、地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全への貢献に取り組んでいます。

こうしたことから、自然エネルギーの積極的な導入をはじめとする地球温暖化防止を進め、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」を、県内市町で初めての宣言となります。

■ゼロカーボンシティとは

「2050年にCO₂の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自ら公表した地方自治体」をゼロカーボンシティとしています。

現在、151の自治体(21都道府県、82市、1特別区、37町、10村)が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しています。(2020年8月6日現在、環境省ホームページより)

地球温暖化対策は、国、地方自治体、事業者、国民といった全ての主体が参加・連携して取り組むことが必要であり、地方自治体が自ら率先した取組を行うことで、区域の事業者・住民の模範となることが望まれています。

環境省では、こうした目標の達成に向け、「2050年にCO₂の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自ら公表した地方自治体」を「ゼロカーボンシティ」として国内外に広く発信するとともに、全国の自治体へ表明の検討を呼びかけています。

■問い合わせ

担当課名:総合政策部 地域創生推進課 地域エネルギー室

担当者名:池本・寺村 (直通) 0748-71-2302 (FAX) 0748-72-2000

※17時15分以降は、0748-72-1290までお問い合わせください。



湖南省は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



〒520-3288

滋賀県湖南省中央一丁目1番地

湖南省役所 秘書広報課

TEL 0748-71-2314

FAX 0748-72-1467

湖南省「ゼロカーボンシティ」宣言

国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、SDGs国連加盟国193ヶ国が2016年から2030年までの15年間で達成する目標として掲げています。

制定された17の国際目標の中に、「13.気候変動に具体的な対策を」があり、世界的な気候変動に対する対策が求められています。

国連の世界気象機関（WMO）は世界の主要な観測データセットの分析に基づき、世界気温の上昇がすでに悲惨な結果をもたらしているとして、「記録的な海面上昇、海洋の温度と酸性度の上昇、異常気象」などを例に挙げています。

地球温暖化の進行に伴い、今後災害や猛暑のリスクがさらに高まると言われており、私たちの生活の様々な点で影響を与えます。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されましたが、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、この目標を達成するためには「2050年までにCO₂(二酸化炭素)の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

湖南省は、SDGs未来都市に選定された都市として、市民や事業者の皆さんと共に、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに市内のCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

令和2年8月31日

湖南省長 谷畑 英吾